# Campus Life 128 December 2, 2022 No.128 Life 128

第75回自主法政祭多摩地区のご報告 第75回自主法政祭多摩地区のご報告 第75回自主法政祭多摩地区のご報告 第75回自主法政祭多摩地区 実行委員長 遠藤紅斗 10月15日、16日に第75回自主法政祭多摩地区(以下、多摩祭)が開催されました。昨年は2年ぶりの実地開催となり、コロナ禍でも安心かつ安全な多摩祭を作り上げることができました。今年度も、昨年の経験を活かしコロナ禍でも来場者や参加団体の方々が最大限楽しんでいただけるよう尽力して参りました。ご来場いただいた皆様、協賛企業の皆様、参加団体の方々、ご協力下さった大学教職員の皆様により、思い出に残る多摩祭を作り上げることができました。この場を借りて感謝申し上げます。

今年度は、「笑う多摩には、福来たる」をテーマとし、多摩祭に関わる全ての人がこの多摩キャンパスで充実した2日間を過ごしていただけるよう、昨年の12月から準備を進めて参りました。特に教室企画やステージ企画、屋台企画では昨年よりも多くの団体が参加し、法政大学の学生のみなさんの普段の活動を発表する場となったことで、大いに盛り上がりました。

また、B 棟ステージ企画では「石川界人」さん、「小林私」さん、お笑い企画では「インディアンス」さん、「スクールゾーン」さん、「ネゴシックス」さんといった著名な方々に出演していただき、こちらも大盛況となりました。

来年度もこの多摩キャンパスで活気あふれる多摩祭を開催できるよう、我々実行委員会は立ち止まらず前に進んでいきます。来年も多摩祭に関わる全ての方々にとって忘れられない思い出となるよう準備をしていきますので、次の多摩祭にもぜひご参加ください。

改めて、第75回自主法政祭多摩地区の開催に携わっていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。









自主法政祭多摩地区(多摩祭)は2022年10月15日、16日に実地開催しました。新型コロナウイ ルス感染症流行下ですが、様々な感染症対策を取り、多くの企画が実施されました! そんな多摩祭の様子を、ぜひご覧ください!



円芝エリアでの屋台



ペデストリアンデッキ下の屋台

# 屋台企画

学生団体はもちろん、地域のお店や卒業生 の方々も出店し、活気に溢れていました。

多摩オープンキャンパスリーダーズ屋台

# 教室企画

文化系団体の展示・発表や音 楽団体のライブなど 20 団体 の企画に、多くの方が来場し ました。



アカペラサークル「はもるぷ♪」



多摩ボランティアセンター学生スタッフ





音楽団体やダンスサークルな どによるパフォーマンス、実 行委員企画のカラオケ大会や クイズ大会も行われました。



よさこいサークル「法政大学 YOSAKOI ソーランサークル鳳遙恋」



お笑いライブを楽しむ来場者

■[多摩ナイト] 花火

# 行委員企画

参加学生や地域の方々にも楽しんでいただけるような企画 を数多く実施しました。子どもから大人まで楽しんでいる 姿が印象的でした。下の写真の他にも様々な企画が実施さ れました。



法大生深堀り企画





どうぶつえん企画





# 課外教養プログラム に参加しよう!

正課授業だけでは補いきれない法大生の多様なニーズに応えるため、学生センターでは様々な「課外教養プログラム」を実施しています。2021 年度はオンラインでプログラムを実施し、31 のプログラムに約 700 名が参加しました。テーマは「スキルアップ」「古典芸能」「スポーツ観戦」などと幅広く、いつもの授業とは一味違った体験ができます。ぜひ授業の空きコマなどを利用して参加してみませんか?

# 近日中!実施プログラム

# 生態系を脅かすインフラ開発 ~私たちの暮らしの裏で何が起きているのか~

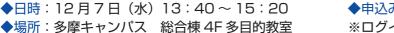
皆さんは、インフラ開発や生態系、環境問題と聞いて何を思い浮かべますか?

最近は、リニア新幹線の建設を巡った議論が話題になったと思います。道路が建設された結果、車で行きたい場所に素早く行けるように、私たちの生活はインフラ開発によって便利になっています。 一方で、「その開発の裏で生態系が脅かされている」という話は聞いたことがありますか? 例えば、「道路の建設の際、森を切り開くことから、森林伐採によって生態系の生息地が少なくなっている」

と聞いたことがあるかもしれません。 実際のところ、どうなのでしょうか?「インフラ開発によって、 生態系にはどんな影響が出ているのか」について、自然・環境 に関わる政策や生物の多様性を 専門にされている高田先生と一 緒に考えてみましょう!

# **◆こんな人におすすめ◆**

- ・生物や自然に関心がある方
- ・環境問題に関心がある方
- ・都市開発に関心がある方
- ・将来、インフラ開発に関係する仕事をしたいと考えている方
- ・人間と自然の共生について考えてみたい方



◆定員:30名

◆講師:高田雅之氏(法政大学人間環境学部教授)

◆申込み:右のQRコードから!

※ログイン時に使用するメールアドレスはご自身の法政 大学のメールアドレス(@stu..hosei.ac.jp)をご入 力ください。



申込みフォーム



# 学生又多ッフ豪集!!!

大学の教職員と一緒に課外教養プログラムを企画・運営する「課外教養プログラムプロジェクト(KYOPRO)学生スタッフ」を募集しています。学年を問わず、いつでも誰でも、やりたいと思った時に加入できます。

「自分でプログラムを作ってみたい!」と思った方はもちろん、「大学生活で何かに挑戦してみたい!」という方も是非お問合せください!

# **◆こんな人におすすめ◆**



- ・プログラム作りを通してスキルアップしたい!
- ・色々な人と話がしたい!
- ・新しいことに挑戦してみたい!
- ・他キャンパスの学生と繋がりたい!



### **◆どんなスキルが身につくの?◆**

- ・ビジネスマナースキル ex)メール、敬語等
- ・プレゼンスキル・チームワーク
- ・デザインスキル ex) ポスター制作

が身につきます!

#### ■お問合せ■

各キャンパス学生生活課

多摩: EGG DOME 2階

042-783-2152

市ヶ谷: 外濠校舎 1 階 03-3264-9475

小金井:管理棟2階

042-387-6011

多摩キャンパス生はこちらから!

多摩 KYOPRO お問い合わせ フォーム 多摩 KYOPRO Twitter





### 今年度 多摩 KYOPRO 実施プログラム

今年度は、新入生向けのキャンパスツアーから体験型プログラム、 講義型プログラムと幅広く企画しています!



# 多摩学生相談室からのお知らせ

# 自分をねぎらい、一息つきましょう

気が付けばもう12月。今年1年、どんなことがありましたか? オンライン授業から対面授業に切り替わり、大学生活の大きな 変化に戸惑いを感じたり、リズムをつかめなかったりしたので はないでしょうか。

それぞれ色々な事があった 1 年間だと思います。頑張ったこと、もっと頑張れたかもと悔やんでいること、自分なりに納得できたこと等、多くの思いを抱えていると思いますが、まずは無条件で自分をねぎらってください。皆さんはこの激動の時代を歩んでいます。そのことは皆さんが誇りに思っていいことです。

自分だけでは中々そのようには思えなかったり、一人で抱えておくには重い気持ちになったりすることもあります。そういった時には、ぜひ学生相談室に声をかけてみてください。そこに

は一緒に考えるカウンセラーがいます。一緒に



考えることで、きっと その悩みの種を可能性 の種に変えていくこと が出来ると思います。



## ■お問合せ■

場所:総合棟2階

(キャリアセンターに向かって左隣り)

開室時間:月~金曜日 9:30~16:30

(11:55~12:55を除く)

電 話: 042-783-2158



多摩学生 相談室 HP

# スポフェス学生実行委員募集!

多摩キャンパスの開設以来、毎年開催されている新入生歓迎行事「スポーツフェスティバル」を運営する団体です。陸上競技場や野球場、体育館など、多摩キャンパスの広大のスポーツ施設を使って様々な競技を実施しており、毎年延べ2,000人が参加する人気行事です。

2022年度は3年ぶりに実施し、多くの学生が参加しました!

毎年テーマを掲げた企画を実施するなど して、より多くの学生がより楽しくイベン トに参加できる仕掛けづくりを考えます。 興味のある方は是非お問合せください!







#### ★スポフェス学生実行委員活動内容★

#### ◇定例ミーティング

・頻度:2週間に1回 ※スポフェス前後は頻度が増えます

・時間:昼休み

・内容:次回スポフェスの競技決め・実行委員企画の内容決め

#### ◇当日の運営

・実行委員企画の運営、アナウンス等

今年度は「たまきゃん謎解き街歩き」というなぞなぞクイズを 実施しました。

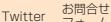
過去は腕相撲大会やミニ運動会を実施しました。

# ■お問合せ■

場所:EGG DOME 2 階 多摩学生生活課

時間:9:00~17:00(11:30~12:30を除く)

電話: 042-783-2152







# 多摩障がい学生支援室からのお知らせ

障がい学生支援室では、障がいのある学生が障がいのない 学生と同等に学べる環境の実現をめざして、「授業支援」を中 心にサポート活動を行っています。障がいのある学生と支援 をする学生の双方が成長できるコミュニティづくりを目指し ています。

#### 支援内容 (例)

- ・ノート(パソコン)テイク ・文字起こし ・対面朗読
- ・実技の補助員配置 ・教室間の移動の介助
- ※支援内容は障がいのある学生との個別面談によって決定するため、1人1人異なります。

支援室の活動は、その多くが支援室に登録している学生ボラン ティア(障がい学生サポートスタッフ)によって支えられていま す。サポートスタッフは、支援体験をしたり講習を受講したりし

た後、サポートを必要とする 学生の授業へ派遣されます。

多摩障がい学生支援室では学生サポートスタッフを募集しています。興味のある方は E-mail でお知らせください。



白杖体験の様子

**宛先アドレス**: tmshien @ hosei.ac.jp **メール件名**: 学生サポートスタッフ希望

メール本文 : ①学部、②学年、③学生証番号、④氏名、

⑤連絡先(大学付与のメールアドレス)

#### ■お問合せ■

場 所 :総合棟2階 多摩障がい学生支援室

開室時間:9:00~17:00

(11:30~12:30を除く)

電話: 042-783-4038



障がい学生 支援室 HP

# 編集後記 (キャンパスライフ編集委員より)

新型コロナウイルス感染症によって、大学生活もかなり変わりました。その中で、コミュニケーションは SNS やメッセンジャーで取るようになり、スマートフォンが私たちのライフスタイルの中で重要なアイテムとなりました。手書きでノートをとらずデジタルでとる学生やスマートフォンやタブレットを手に取ってプレゼンテーションする学生も増えました。こうした技術の進歩によって失われるものもあります。便利といわれているデジタル社会の中で、「アナログ」の良さについて一度考えてみてはいかがでしょうか。日本は、先進国の中でもデジタル化が進んでいないという指摘もありますが、日本の良さを表す一つの特徴が「アナログ」ではないかと思います。時間をかけて丁寧に書く文章には、書き手の思いが込め

られ読み手に伝わります。皆さんも、大学生活において、自分にとって大切な場面では、誠意を込めて 手書きの文章を書いてみてはい

かがでしょうか。そこには、印刷された機械的なフォントとはまた違う別の良さに気づくはずです。

経済学部教授 朴 倧玄

2022年12月2日発行 第128号編集:法政大学多摩キャンパスライフ編集委員会発行:学校法人 法政大学

東京都町田市相原町4342番地

Tel: 042-783-2152

年3回発行